

キャラクター名 白銀龍之介 コードネーム:アイススタン プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	
	ノイマン					
	オプショナル		年齢	26	性別	
覚醒	償い	衝動	自傷		初期侵食率	36 %
出自		経験			邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	12
感覚	0	1	1			2	(非装備時)	12
精神	4	0	0			4	戦闘移動	17
社会	2	0	0			2	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		R C	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アイスコンストラクト:バインド	射撃	9r+1		9		1,2,3,4 対象のガード値-15

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

[illegible][illegible]

ウィルスは感情に呼応する。まさしく私のきっかけがそれだった。
若いころ付き合っていた彼女がいた。ひどく虚弱で、持病を抱えていたが、お互い惹かれ合うようにして付き合うことになった。けれどもまもなくして彼女は世界
その葬式からの帰りに発症した。
最初は気の弱さからくる衰弱だ、とかと思った。けれどふと後ろを振り返って驚いた。自分の足あとがドライアイスみたいに煙を上げて凍ってたんだから。
その数日後にUGNがやってきて、色々話を聞いた。
言われて思ったよ。日々彼女と顔を合わせながら、呑気に将来を語らう自分がひどく滑稽に思えた。彼女の苦しみに少しでも気づいていれば、まだ二人でいられたかもしれないのに。
だから誓った。私の冷たさが、彼女の死がこの運命を引き寄せたのなら、それに従おうと。
そうして、私はUGNのエージェントになった。